

# オンライン講演会

日程:2024年5月11日(土)14:00～15:30

テーマ

**ACP(人生会議)だけでは叶えられない「自分が望む終末期医療」**

講師:宮本礼子

定員:500人(会員・非会員を問わず無料)

形式:オンライン(ZOOM)

主催:日本尊厳死協会北海道支部

申し込み:北海道支部ホームページ(前日まで)

## 講演要旨

命の危険が迫ると多くの人にはどのような医療をして欲しいのかを言えなくなります。そのため、あらかじめリビング・ウィル(終末期医療の注文書)を書いて、どのような最期を迎えたいのかを周囲の人に伝えておく必要があります。

一方、厚生労働省も同じ目的でアドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)を勧めています。

ACPは病院や介護の現場で、患者と家族と医療・ケアチームが行う終末期医療等に関する話し合いです。ACPを行うことで、患者と家族は医療の専門家から有益な情報を得られますが、終末期に行う医療は医学的な妥当性と適切性が必要で、さらに参加者全員の合意も必要です。

そのため患者は強い意志がなければ、家族や医療・ケアチームが勧める自分が望まない医療を受け入れる危険性があります。

まずリビング・ウィルを書いて家族等に伝えておき、ACPが行われる時にそれを提示してください。そうすれば、望む最期が迎えやすくなります。